

経営のヒント 267 「みんなと一緒にレモンを育てる楽しさ」を売る

参考記事「物売るバカ」川上徹也 角川新書より

実店舗がなくても、「体験」や「つながり」という物語を作っていくことは可能です。ネット上でゆるく繋がるコミュニティを作っていくことで、売り上げを大幅に増やしたネットショップがあります。

それが三重県桑名市にある園芸ガーデニング通販サイト「花ひろばオンライン」です。

【楽天市場】レモン部 6期生入部届け入部テスト後にリスボン ...

item.rakuten.co.jp/hana-online/kankitsu_risubonremon_bu/

サイトを見ると「草木・花・ガーデニング用品」が売られているように見えます。しかしそれだけでは他の数多くの園芸サイトで売られているものと変わりません。このショップの売り上げが伸びたのは、商品ではなく、「体験」「つながり」をさらに押し進めて「みんなで一緒に植物を育てる楽しさ」を売っているからです。

象徴的な活動は「花ひろば学園レモン部」です。

同サイトからレモンの苗木を買った人がレモン部に入部できます。

毎年3月に締め切られ、2016年は7期生を募集しています。

レモン部は、レモンの苗木を育ててそれを写真に撮り、ネット上で報告披露しあう「部活動」という位置づけです。

顧問には同社社長の高井さんが就任して、観察するポイントや育て方をアドバイスします。

普通であれば、お客さんなのですが、ここではあくまで部員です。みんなレモン部に入部できたことを喜びます。

「憧れのレモン部に入部できました。これからレモンを大切に育てていきたいと思います」

「身近にガーデニングに話が出来る仲間がいませんので、レモン部の皆さんと仲良くなっていければ嬉しいです」

「本当に楽しいです。以前からレモン部が気になって皆さんと一緒に頑張っ育てて行きたいと思い購入しました。同じレモンを全国の見ず知らずの人達とワイワイしながら育てる。なんか楽しそうに参加してみました。」

このような感想を読めば、お客さんたちが必ずしも「レモンの苗木を買いたい」わけではないことがわかります。みんなでレモンを育てることで「あ～だ、こ～だ」「あ～でもない、こ～でもない」とワイワイガヤガヤ教え合ったり、応援し合ったりするという「体験」がしないのです。

同社のサイトには、以下のような参加を呼びかける文章が書かれています。

「果樹がもたらしてくれるもの、それは豊かな生活です。季節の移り変わりを告げながら、家族と共に成長し、シンボルツリーとして長く付き合うことができる果樹。自分で植え付けた苗木が大きく育ち、果実をつけた時の喜びは、何ものにも変え難いものです。

樹上で完熟させた果実は、本来のおいしさを改めて感じさせてくれるでしょう。大好きな果物から、まずは苗木を1本育ててみませんか？

物語のラストシーンには、素敵なハッピーエンドが待っています」

社長の高井さんは、レモン部を始めた動機を以下のように語ります。

「お客さんとチームになりたい。お客さんの物語をみんなで一緒に共有したくて、レモン部を始めました」

花ひろばオンラインは、「お客さんの未来」という「物語」を売っているのです。

レモンの苗木という商品は、あくまでその象徴なのです。

このように、商品自体の品質や価格で大きな差別化ができない商品であっても、物語の種を見つけて上手に育てれば、売り上げに繋がるストーリーにすることは可能です。

みんな集まれ〜〜♪

レモンの木を仲間といっしょに育てる素人で大人の部活

レモン部 7期生入部届け

入部テスト後にリスボンレモン 2年生 接ぎ木 苗 8号スリット鉢植え栽培セットをお届けします。

お届けは部員さんが全員そろってからです

価格 9,620 円 (税込 10,389 円) 送料込

<経営のヒント>

現在（3月20日まで）レモン部7期生を募集しております。

30名限定。全員揃ってからスタートのようです。FBやメールで部活動をするようです。

価格は、9620円

これを高いかどうかは、その人の価値観次第です。

ちなみ、私は、これ欲しい。（残念ならがマンションだから難しいですが…）

商品ではなく、育てる過程の Facebook やメールでやり取りする体験がワクワクしますね。

たった30名ですが、熱狂的なファンが誕生することでしょう。

1期生からの部員たちは、ここ以外では買わないようになりますと感じます。

レモンから始まって・・・

そして、仲間同士が自分の育てた植物や果物を自慢する「場」がある。

情報交換する「場」が生まれる。

肥料や堆肥、ジャムや加工品などをオークションする「市場」となる。

「場」が出来ると未来の可能性がドンドン広がりますね。

どうですが、面白い取組みだと思いませんか？